

農業技術 リズム

ビワ「麗月」(森尾早生×広東)は、月のように丸く、淡黄色の外観が特徴で、高糖度で軟らかな果肉の施設栽培に適する早生品種です。しかし、同一品種の受粉では結実しない性質が強いため、着果が安定しません。そこで、結実促進、収量向上のため、ハウス内でのミツバチ放飼の効果を検討しました。棟別に「麗月」「なつたより」が植栽された2連棟の加温ハウスへ、2012年と13年産の開花開始時に、セイヨウミツバチの巣箱(約2000匹)を入れ、翌春に収量や果実の大きさなどを調査しました。その結

果、ミツバチ放飼を行った2カ年は、前年に比べ、収量は大幅に増加し、2L以上の大玉比率が増え、1果平均重も大きくなりました(表)。袋で覆い、ミツバチ受粉を妨げた房は、ほとんどは「麗月」で、受粉可能で

ビワ良食味品種「麗月」 ミツバチ放飼による 結実及び収量の向上

んど結実せず、受粉品種の混植とミツバチ放飼が有効と考えられます。県内で栽培される品種のほと

(県農林技術開発センター 山下次郎)

表 ミツバチ放飼の有無と収穫果実

区	年産	収穫量 (kg/樹)	階級比率 (%)					1果平均重 (g)
			S以下	M	L	2L	3L以上	
なし	2011	7.4	19.5	44.7	26.9	6.9	2.0	39.6
	2012	21.7	0.6	5.7	35.3	42.9	15.5	47.8
あり	2013	16.3	4.8	25.5	58.3	10.5	0.9	43.8
	有意差 ²	*						**

² t検定により *5%水準 **1%水準で有意差あり